

# Scanner File Utility

Ver.1.12

機能説明 : このソフトウェアはスキャンした画像をパソコンに自動的に保存するためのユーティリティソフトです。

使用条件 : このソフトウェアをダウンロードする前に、「使用許諾契約書」を必ずお読みください。ダウンロードを開始された場合には本許諾書に同意されたものとさせていただきます。

## 目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 1. インストール方法              | 2 |
| 2. 設定方法                  | 4 |
| 2.1 デスクトップモードの設定画面の呼び出し方 | 4 |
| 2.2 サービスモードの設定画面の呼び出し方   | 5 |
| 2.3 保存先設定                | 6 |
| 3. Windows XP SP2 使用時の注意 | 7 |

# 1. インストール方法

- 1 ダウンロードしたファイルを実行し、任意の場所(c:\Temp など)に解凍します。
- 2 解凍先フォルダを開き、「Setup.exe」を実行します。
- 3 インストーラが実行されます。「次へ」をクリックします。

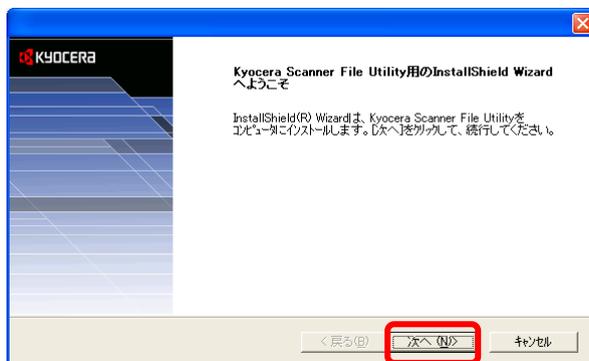


図1 インストール1

- 4 インストール先を選択し、「次へ」をクリックします。

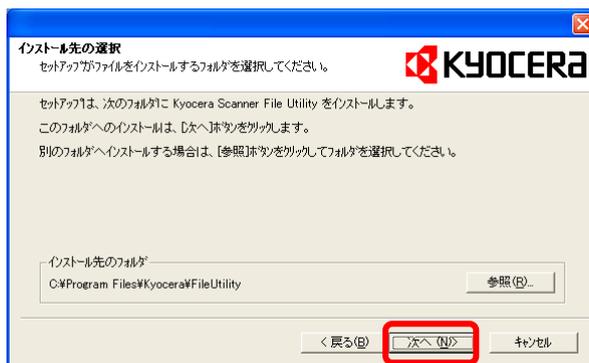


図2 インストール2

- 5 セットアップタイプを任意に変更し、「次へ」をクリックします。  
ここで設定した値によって、当「Scanner File Utility」の使用方法が異なります。  
サービスモード : コンピュータがログオフ状態でも使用することができます。  
デスクトップモード : コンピュータにログインし、「Scanner File Utility」を実行することで使用できます。



図3 インストール3

6 インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」をクリックします。

• **KM-DB Link Handler**

スキャンした画像に文書情報“キーワード”を追加します。

KM-DocumentBinder で、追加した文書情報からデータを検索する場合に選択します。

• **PDF Keyword Embedder**

スキャンした画像に文書情報“キーワード”を追加します。PaperPort で、追加した文書情報からデータを検索する場合に選択します。

• **KM-Network FAX Received Handler**

Network FAX を使用する場合に追加します。詳細はファクスオプション付属の NetworkK FAX オンラインマニュアルをご覧ください。

• **Database Link Handler**

DB-Assistant で、文書情報を追加する際に使用します。

(スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。)



図4 インストール4

7 スタートメニューの登録名を設定します。

「次へ」をクリックするとインストールが始まります。



図5 インストール5

8 インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。

「完了」をクリックして、インストールを終了します。



図6 インストール6

## 2. 設定方法

スキャンしたデータやFAX受信したデータをコンピュータに保存する際、Scanner File Utility 及び複合機に設定を行う必要があります。

本書では、Scanner File Utility の設定方法のみ説明いたします。複合機の設定方法は、「Scan System 使用説明書 セットアップ編」及び「Scan System 使用説明書 機能編」をご覧ください。

以下に Scanner File Utility の設定方法を説明します。

Scanner File Utility の設定方法は、設定画面から設定を行います。

「デスクトップモード」と「サービスモード」とでは設定画面の呼び出し方が一部異なります。

以下にそれぞれのモードの設定画面の呼び出し方を説明します。

### 2.1 デスクトップモードの設定画面の呼び出し方

- 1 タスクバーにある Scanner File Utility のアイコンを右クリックし、メニュー内の「設定」をクリックします。



図7 Scanner File Utility のアイコン  
待機中



図8 Scanner File Utility のアイコン  
メニュー

- 2 「設定」をクリックし、設定画面を表示します。



図9 トップ画面



図10 設定画面

## 2.2 サービスモードの設定画面の呼び出し方

- 1 タスクバーにある Scanner File Utility のアイコンを右クリックし、メニュー内の「停止」をクリックし、サービスを停止させます。



図 11 Scanner File Utility の  
アイコン  
サービス稼働中

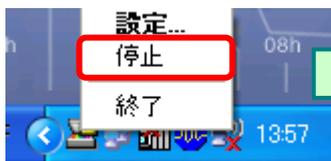


図 12 Scanner File Utility の  
アイコン  
メニュー



図 13 Scanner File Utility の  
アイコン  
サービス停止中

- 2 「設定」をクリックし、設定画面を表示します。

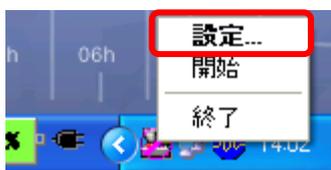


図 14 Scanner File Utility のアイコン  
メニュー

- 3 「設定」をクリックし、設定画面を表示します。



図 15 トップ画面

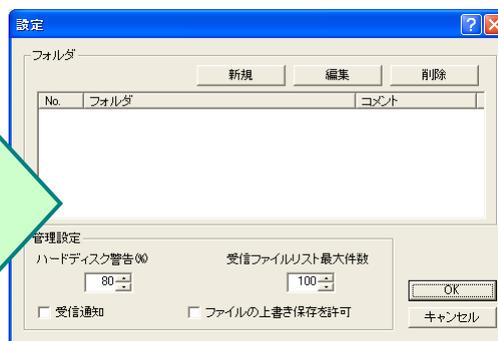


図 16 設定画面

## 2.3 保存先設定

複合機から送られてくるデータの保存先を指定します。

- 1 設定画面の「新規」をクリックします。

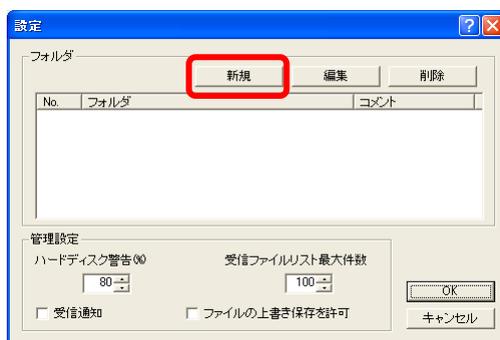


図 17 設定画面

- 2 「No.」、「フォルダ」、「コメント」、「システム連携プログラム」を設定し、「OK」をクリックします。

「No.」 複合機に登録する際に使用する番号です。001～100 内で設定します。

「フォルダ」 保存先のフォルダパスを入力します。

「コメント」 設定画面内に表示するコメントです。省略可能です。

「システム連携プログラム」 2.インストール方法の6でインストールした内容を選択します。

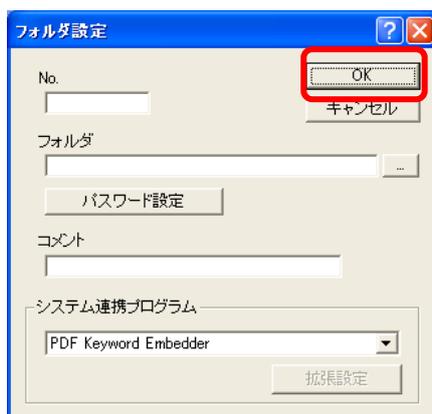


図 18 新規フォルダ設定

- 3 設定画面の「OK」をクリックします。
- 4 Scanner File Utility のトップ画面の「OK」をクリックします。

以上で Scanner File Utility の設定が完了です。続いて複合機の設定を行ってください。

複合機の設定方法は、別紙「Scan System 使用説明書 セットアップ編」及び「Scan System 使用説明書 機能編」をご覧ください。

### 3. Windows XP SP2 使用時の注意

Scanner File Utility を使用するコンピュータの OS が Windows XP Service Pack 2 の場合、ファイヤーウォールの設定が必要となります。

設定方法は以下の通りです。

- ① Scanner File Utility を始めて起動する際に表示される画面より「ブロックを解除する」  
Scanner File Utility を始めて起動する際、以下の図「Windows セキュリティの重要な警告」が出る場合があります。  
表示された場合、「ブロックを解除する」をクリックします。

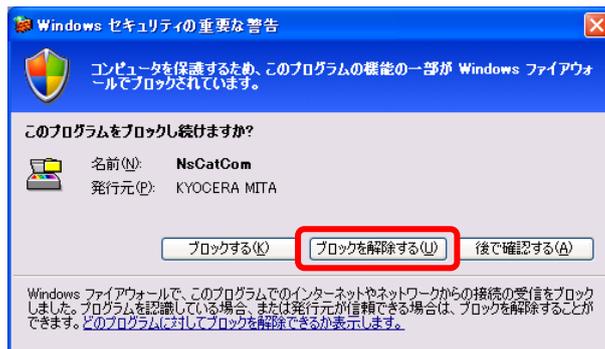


図 19 Windows セキュリティの重要な警告

- ② Windows ファイヤーウォールの「例外」に Scanner File Utility を追加する  
Windows ファイヤーウォール設定画面の「例外」タブより「プログラムを追加」をクリックし、「Scanner File Utility」を追加します。

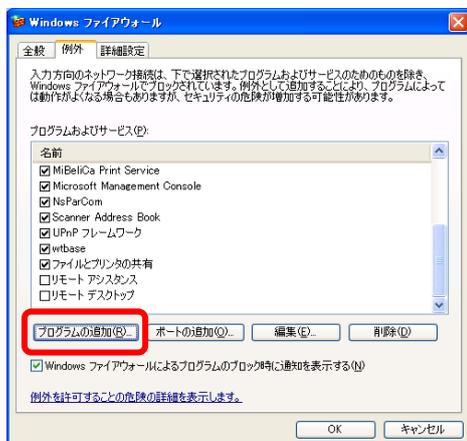


図 20 Windows ファイヤーウォール  
例外画面



図 21 Windows ファイヤーウォール  
プログラムの追加画面

以上